

中学校 地理的分野学習指導案

小単元：中国・四国地方の人々の営み(配当 5 時間)

瀬戸内地方の造船業 (3/5)

◆評価規準の例

* は学習指導要領との関連

指導目標	社会的事象への関心・意欲・態度	*
<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・四国地方の地域的特色について、都市と農村の変化を人々の生活や産業などに関連づけて考察させる。 ● 過疎・過密地域の抱える問題を具体的に捉え、その解決が課題になっていることを捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・四国地方の自然環境、人口、産業などの特色について概観する中で、特に交通網の整備と都市と農村の変化に関心を持ち、設定した追究テーマを基に地域的特色を意欲的に追究している。 ● 過疎・過密地域の抱える問題について、身近な地域などの事象も含めて、広く関心を持っている。 	(2) ウ (オ)
	社会的な思考・判断・表現	新 C (3) ③ ④
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・四国地方の地域的特色を、人口や都市・村落を中核とした考察を基に多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 ● 都市と農村の変化を、自然環境や人々の生活、産業などに関連づけて考察している。 	
	資料活用の技能	
	<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・四国地方の地域的特色に関する各種の地図や統計、写真などの資料を収集している。 ● 収集した資料から、中国・四国地方の地域的特色について、有用な情報を適切に選択して、それを基に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。 	
	社会的事象についての知識・理解	
<ul style="list-style-type: none"> ● 中国・四国地方について、自然環境や人口、産業などの特色を大まかに捉えている。 ● 中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察を基に地域的特色を理解し、その知識を身につけている。 		

◆評価規準の例(各時間)

中国・四国地方 指導計画例 (5時間)

時数	主な学習内容	学習活動	教材・資料
1	中国・四国地方をながめて 中国・四国地方の自然 太平洋 瀬戸内海 日本海 山地 平野 川 離島 湖 塩田 都市、港、空港、鉄道 高速道 橋 (①自然環境を中核とした考察)	○中国・四国地方の様々な地域を眺めてみよう ・日本列島における中国・四国地方の位置 ・中国・四国地方の自然 ・地図と映像の照合 「高知市から松江市までを地図と映像でたどり、発見したことを確かめ合おう！」	Google Earth 白地図 天気図(夏 冬) 雨温図 土地利用図 等高線地図 断面図 観光地図
2	自然環境を生かした農業、漁業 ・9県の農林水産業の特色 ・各県の特産物 ・出荷額全国比から各県の農林水産業の実態 (③産業を中核とした考察)	○中国・四国地方の農林水産業を調べ、自然の特色と関係をつかもう。 ・代表的な農産物を取り上げ、特色ある生産の取り組みについて調べる。 「柑橘類生産日本一の愛媛県の秘密を探そう！」	島根、鳥取、山口、広島、岡山、香川、徳島、愛媛、高知各県HP 都道府県ランキング みかんご飯、みかんパン ジュースの出る蛇口(松山空港)
3	日本や世界の海運を支える瀬戸内地域の造船業 (③産業を中核とした考察)	○中国四国地方の工業の特色を概観し、日本の造船業の多くが瀬戸内地域に集中していることについて考える。 ・日本や世界の海を駆ける造船業について概観する。 ・なぜ、瀬戸内地域で造船業が発達したのだろうか。(造船会社から学ぼう) 「どうして瀬戸内地域に造船業が集中しているのだろうか？」	・DVD (日本の海運～5分) 日本主要造船所の分布資料1 ・造船業の現状(国土交通省) ・日本造船業の概要(海の仕事.com) ・今治造船会社HP
4	広がる交通網、交通手段 (④他地域との結び付き)	中国・四国地方で生産される農産物や工業製品を市場に出荷するにはどのような手段があるか考える。 「中国・四国地方の生産物(農林水産・工業)の出荷先や市場への輸送をたどってみよう！」	・農林水産物の生産地 ・工業製品の生産地 ・生産地と市場を結ぶ交通手段 ・中国地方の港湾 ・瀬戸内地域の工業生産 ・内航で運ばれる製品 ・瀬戸内地域の港湾の整備他
5	瀬戸内地方に集まる人口 地方中枢都市 広島 過疎化する地域の増加と対策 交通網の変化による人口変動 (②人口や都市・村落を中核とした考察)	○中国・四国地方の人口分布から地方中枢都市や再開発地域と、人口の過疎化に直面する地域の特色と課題について考える。 「中国・四国の市町村別人口増減率(直近10年)から課題を考え、解決案を出そう！」	日本の将来人口推移 広島、地方都市の人口推移 過疎町村の人口推移 再開発都市の例示 町おこし例示

東京書籍 平成28年度用『新編 新しい社会』年間指導計画作成資料 参照

◆本時指導案 瀬戸内地方の造船業 (3/5)

過程	○学習課題・活動 ・学習内容	◎資料の例 ◆指導上の留意点
導入 7分	<p>【4人一組のグループ構成】(あらかじめ各班では各自が♣♦♠♣を確認)</p> <p>○「国内造船所の地域分布」(日本全図に記された点●だけの地図)を提示して、●の箇所はどんなモノ(工業製品)が作られているか各自が予想して、ワークシートに記入する。</p> <p>○ビデオ視聴(日本の海運ダイジェスト版第1章)冒頭の約5分</p>	<p>◆あらかじめ4種類のカードを生活班の中で確認しておく。</p> <p>・ビデオ視聴「日本の海運」ダイジェスト版1章 約5分</p>
展 開 30分	<p>○瀬戸内工業地域の特色の一つである造船業について</p> <p>学習課題 どうして瀬戸内地域に造船所が集中しているのだろうか？</p> <p>○「国内造船所の地域分布」で国内の造船所を確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国内の造船所は瀬戸内地域と西九州地域に集中している。 ♣♦♠♣各4~5人ずつ2つの班を作る。 <p>エキスパートになろう！ エキスパートごとに考えよう！</p> <p>○ ♣A1,2 ♠B1,2♦C1,2 ♠D1,2、のそれぞれの座席に集まって、資料を参考にそれぞれの課題について学び合う。</p> <p>♣:そもそも日本の造船業はどのような状況(国内・国外)にあるのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の造船業の推移と造船業での日本のライバル国との比較 ・造船業の特色と雇用の状況 ・陸送、空送よりも海運の有利な点 <p>♠:瀬戸内地域に造船所が集中する歴史的要因はあるのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古代~江戸時代の瀬戸内海航路 ・明治時代~第2次大戦の造船の歴史 ・第2次大戦後~現在の造船業の発達 <p>◆:瀬戸内地域に造船所が集中する地理的要因はあるのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内海地域の自然・地形の特色 ・瀬戸内海地域の交通網 <p>♠:中国・四国地方の農林水産業や他の工業との関係はあるのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国・四国から全国や国外へ出荷する農林水産物と輸送手段 ・石油化学コンビナートの原材料や製品の運搬 <p>各エキスパートから戻って、課題について考えよう！</p> <p>学習課題 どうして瀬戸内地域に造船所が集中しているのだろうか？</p> <p>○元のグループに戻って、ワークシートの課題にしたがって、それぞれが学んだことを報告し合いながら、ワークシートにまとめる。</p> <p>例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・沿岸部に入り江が多く、浅い海は干拓しやすく広い地形が多い。 ・内海であるために、波は穏やかで潮流を利用した航行(地理的な背景) ・昔から海運業が発達。いくつもの航路として栄えた(歴史的背景) <p>古代 平安 鎌倉 室町 江戸 各時代で活躍した海運は？</p> <p>大宰府と奈良・京都 遣唐使船、勘合貿易航路、朝鮮使 廻船航路(明治時代以降、海軍の造船、基地として発展してきた。現在は？)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次大戦後、石油化学コンビナートが発展(産業・経済的背景) <p>原材料の運搬 製品の搬出 → 大量・重工品の国内外への運搬</p>	<p>◎日本主要造船所の分布 資料1</p> <p>◆ジグソー調査と報告について確認する。</p> <p>・歴史的分野教科書、資料集</p> <p>・地図帳、地理的分野資料集</p> <p>・日本造船工業会 https://www.sajn.or.jp/pr (中高生向け壁新聞)</p> <p>◎日本造船業の概要(海の仕事.com) http://www.uminoshigoto.com/make/ shipbuilding_industry_diti.html</p> <p>◎造船会社等のHP (例:今治造船会社) http://www.imazo.co.jp/</p> <p>◎造船業の現状(国土交通省) 資料2</p> <p>◎世界の造船業の概況 資料3</p> <p>◎造船企業別竣工量ランキング(2014年) 資料4</p> <p>◎中国地方の港湾</p> <ul style="list-style-type: none"> ・瀬戸内地域の工業生産 ・内航で運ばれる工業製品 ・瀬戸内地域の港湾の整備 <p>他 資料5</p> <p>◆ワークシートでの振り返りと学び合い</p>
まとめ 5	<p>○ビデオを視聴する。 (日本の海運ダイジェスト版第2章)冒頭の約5分</p> <p>○ワークシートに本時の学習についての評価、疑問点やさらに学びたいことなどについて記入する。</p>	<p>◎ビデオ視聴「日本の海運」ダイジェスト版2章(5分)</p>

「瀬戸内地方の造船業」ワークシート

年 月 日

年 組 番／名前

はじめに

日本地図の●の箇所はどんなモノ(工業製品)が作られているか。各自が予想した理由を記入してください。

【 (理由) _____

エキスパート & エキスパートから戻っての記入(自分のエキスパート番号に○をつける)

1 日本の造船業はどのような状況にあるのだろうか？(簡潔に、キーワードでも可)

2 瀬戸内地域に造船所が集中する歴史的要因はあるのか？(簡潔に、キーワードでも可)

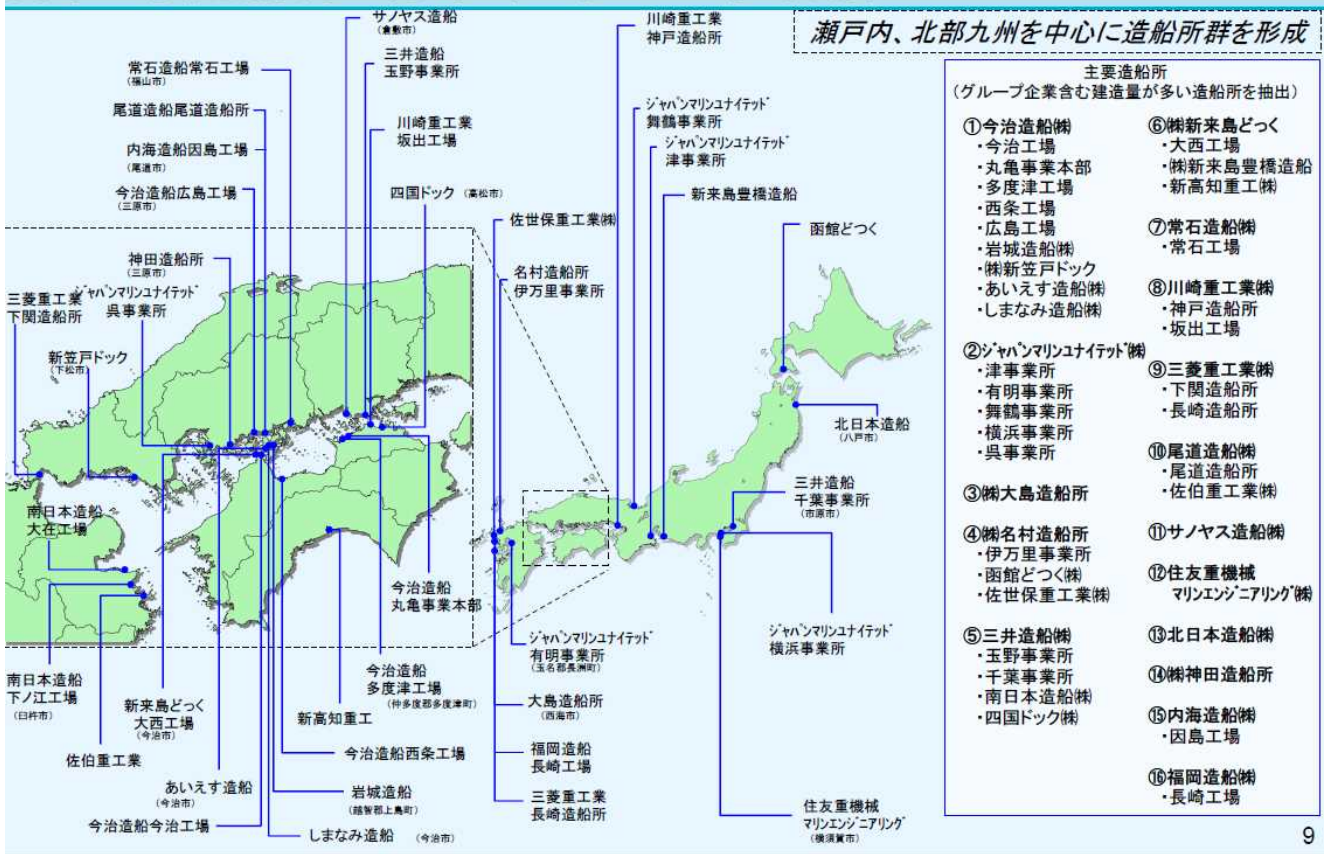
3 瀬戸内地域に造船所が集中する地理的要因はあるのか？(簡潔に、キーワードでも可)

4 中国・四国地方の農林水産業や他の工業との関係はあるのだろうか？(簡潔に、キーワードでも可)

5 学習課題 どうして瀬戸内地方に造船所が集中しているのだろうか？

6 本時の学習についての評価、疑問点やさらに学びたいことなどについて記入する。

日本主要造船所の分布（16社 38事業所）



国土交通省海事局

交通政策審議会—海事分科会—海事イノベーション部会

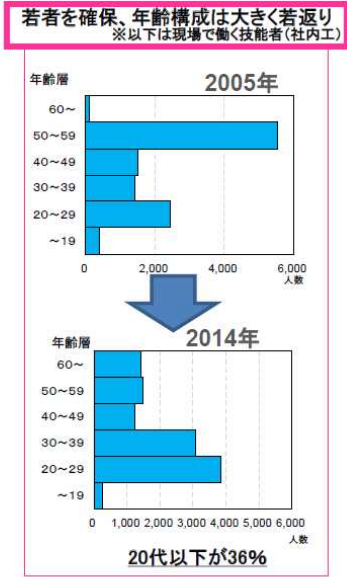
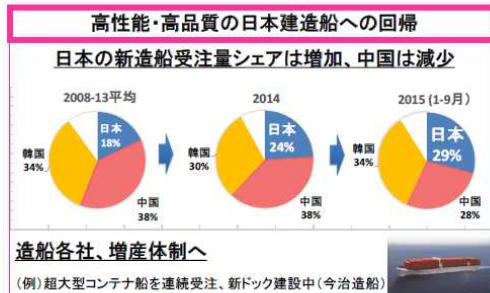
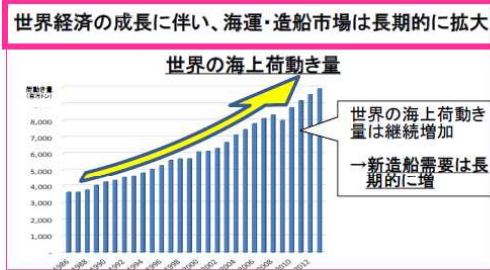
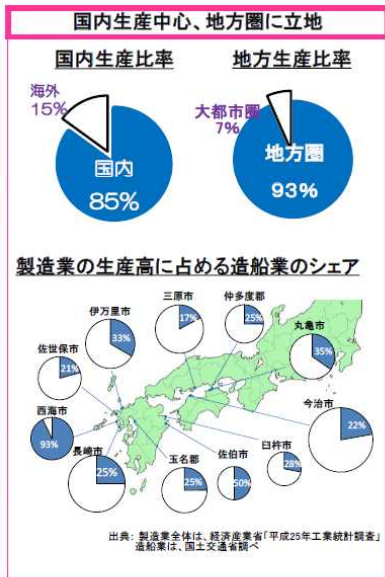
http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk5_000039.html

平成 29 年 12 月第 4 回海事イノベーション部会 資料 2-1 「造船市場の現状」

<http://www.mlit.go.jp/common/001215818.pdf>

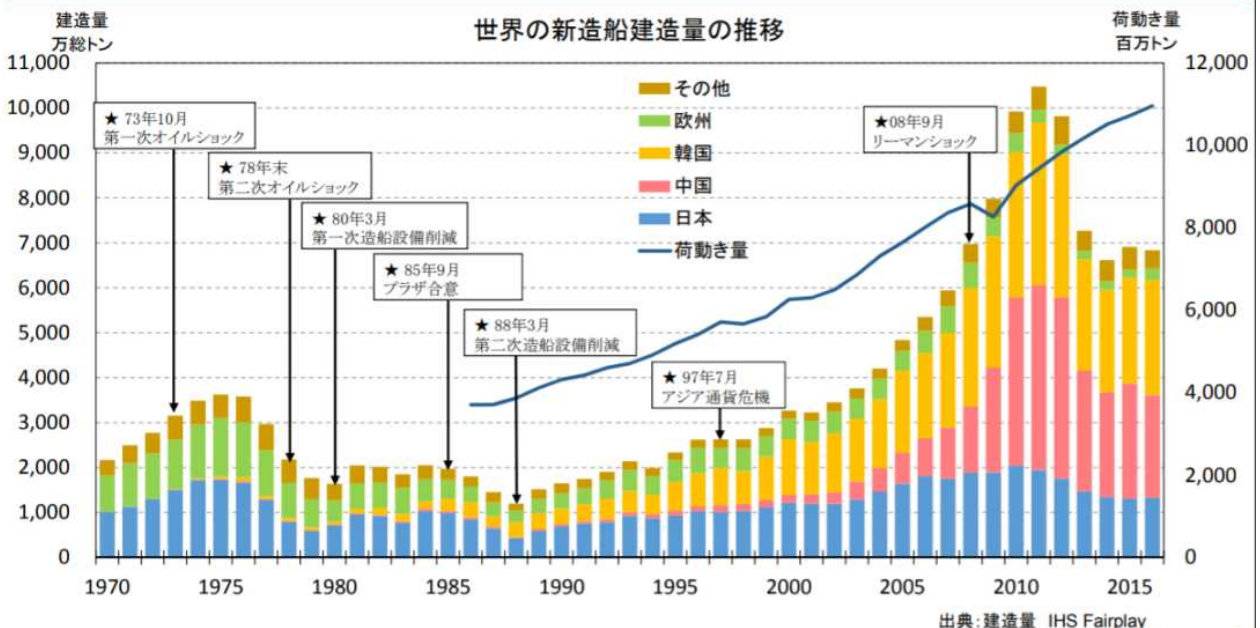
日本造船業の概況

- 国内に生産拠点を維持し、**地域の経済・雇用を支える**（船用工業と合わせて12.5万人、売上3.2兆円、国産化率約9割）。
- 輸出比率90%、世界のマーケットで**中国・韓国と競争**（近年のシェアは世界3位、約2割で推移）。
- 国際基準化と並行した省エネ技術開発に成功。アベノミクスによる円高是正により、**2013年以降、受注が急速に増加**（2015年1~9月期のシェアは29%で中国を抜いて2位）。

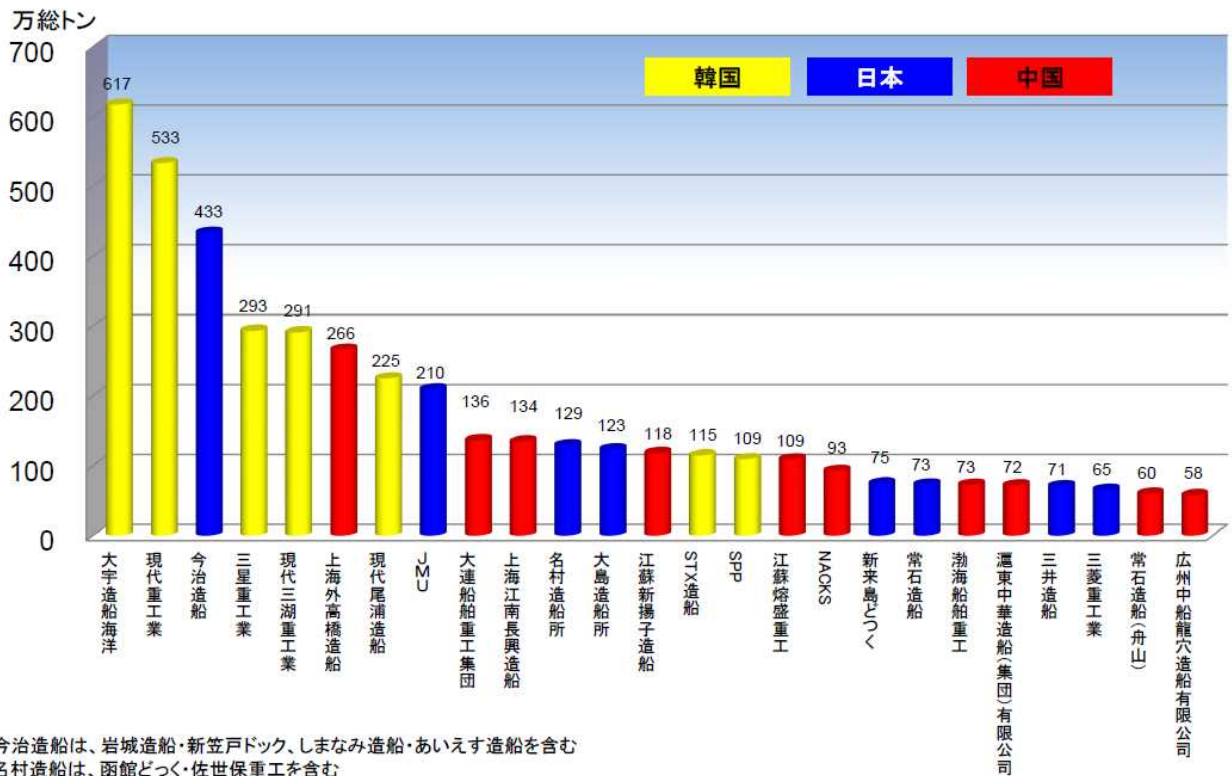


世界の荷動き量と新造船建造量の推移

- 世界の海上荷動き量は、リーマンショック(2008年秋)の翌年に、前年比で減少したものの、基本的には世界経済成長率と連動して増加。
- 世界の造船受注量がリーマンショック以降に激減したため、建造(竣工)量はリーマンショック前の受注船がほぼ竣工した2011年をピークに大きく落ち込んだ。



造船企業別竣工量ランキング(2014年)



※今治造船は、岩城造船・新笠戸ドック、しまなみ造船・あいえず造船を含む
 名村造船は、函館どっく・佐世保重工を含む
 三井造船は、四国どっく・南日本造船を含む

出典：民間データベースより国交省作成

[資料 2~4]国土交通省海事局
 交通政策審議会—海事分科会—海事イノベーション部会
http://www.mlit.go.jp/maritime/maritime_tk5_000039.html
 平成 28 年 2 月第 1 回海事イノベーション部会 『『造船市場の現状』資料 2』
<http://www.mlit.go.jp/common/001118262.pdf>

資料5 中国地方の港湾（抜粋）



図4 中国地方の港湾別の取扱貨物量(平成17年)

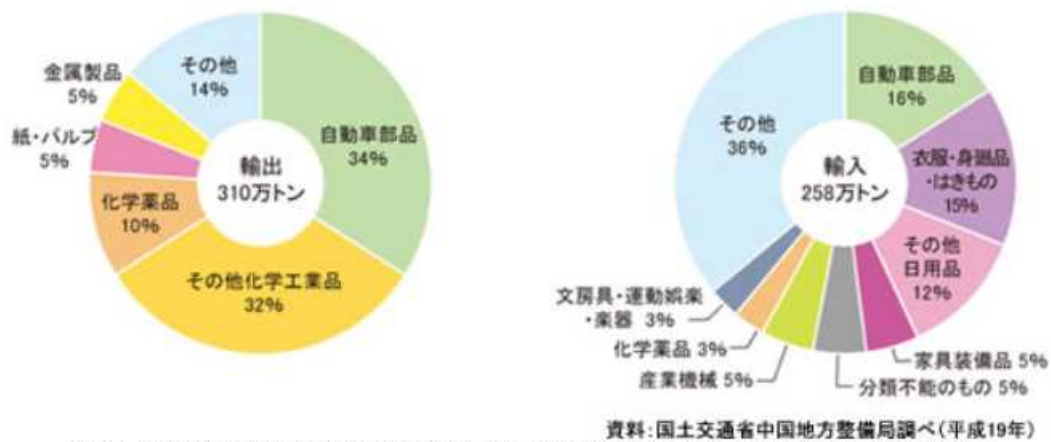


図10 中国地方の港湾における外貿コンテナ取扱貨物量の品目別の割合(平成18年)

国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部「港湾関係データ」
<http://www.pa.cgr.mlit.go.jp/shigoto/kouwan.html>